

*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる地域・時代のものを載せていることもあります。
 *みんなくでは「展示資料」の欄のように、資料名を表示しています。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内 容	展 示 資 料
1		アイヌとキツネ かやのしげる:文 いしくらきんじ:絵 小峰書店	川をのぼってくるたくさんのシャケを獲りに、アイヌばかりではなく、クマやキツネたちが集まってきます。ある日アイヌに激しくチャランケ(談判)している一匹のキツネがいました。このキツネは誰にむかってどんなことをチャランケしているのでしょうか？	酒注(湯桶)。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、鉢巻(はちまき)、帯、前掛け、チセ(伝統的家屋)[再現]、05火棚、07乾燥ウバユリだんご、08炉かぎ、09燈明台、10灰ならし、14削り台、15花ござ、18トウキ(杯:椀・天目台)、ヌササン(祭壇)、礼冠、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)、背負子(しょいこ)、タラ(運搬用縄)、かご、マキリ(小刀)、魚叩き棒、マレク(鉤鉋かぎもり)、弓、矢。 ムツクル(口琴)。
2		アイヌネノアン アイヌ たくさんのふしぎ傑作集 萱野 茂:文 飯島俊一:絵 福音館書店	アイヌの文化伝承者・萱野茂さんが、子供時代の思い出を語り、当時のアイヌの生活や考え方を、2つの昔話を紹介して分かりやすく伝えます。	首飾り。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、手甲(てっこう)、鉢巻(はちまき)、帯、前掛け、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、07乾燥ウバユリだんご、08炉かぎ、10灰ならし、16儀礼用太刀と刀掛け帯、18トウキ(杯:椀・天目台)、20チセコロカムイ(家の守り神)、宝物置き場、ヌササン(祭壇)、儀礼用衣装、礼冠、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)、背負子(しょいこ)、タラ(運搬用縄)、杵、臼、マキリ(小刀)、マレク(鉤鉋かぎもり)、弓、矢、矢筒、しゃくし。 熊送り用祭壇模型[複製]、ムツクル(口琴)。
3		イオマンテ めぐるいのちの贈り物 寮 美千子:文 小林 敏也:画 パロル舎	生きものは誰でも、ほかの命をもらって生きています。 熊送りの儀礼「イオマンテ」・・・ クマの姿を借りてアイヌの世界にやってきたカムイ(神)。ありがたい肉や毛皮を神からの贈り物として受け取るかわりに、見送りの宴を行い大切にもてなしてから、神の世界に帰ってもらう、そんなアイヌの姿を描きました。	首飾り、耳飾り。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、手甲(てっこう)、鉢巻(はちまき)、木綿製衣服、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、05火棚、06木綿製衣服ほか、07乾燥ウバユリだんご、08炉かぎ、09燈明台、10灰ならし、14削り台、15花ござ、16儀礼用太刀と刀掛け帯、18トウキ(杯:椀・天目台)、宝物置き場、ヌササン(祭壇)、花矢、礼冠、煙草(たばこ)入れ、煙管(きせる)、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)、イナウ削り用小刀、編み袋、かんじき、杵、臼、魚叩き棒、マレク(鉤鉋かぎもり)、弓、矢、矢筒。 熊送り用祭壇模型[複製]。

*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる地域・時代のものを載せていることもあります。
 *みんなくでは「展示資料」の欄のように、資料名を表示しています。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内 容	展 示 資 料
4		木ぼりのオオカミ 萱野 茂：文 斎藤博之：絵 小峰書店	クマ神に愛されてかどわかされた女の人を持っていたお守り・木彫りのオオカミが、そのクマと闘って女の人と子供を助けてくれるお話です。作られた木彫りの動物にも、生きているクマにも、人間と同じように魂があるというアイヌの考え方がよく分かります。	漆椀。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、手甲(てっこう)、鉢巻(はちまき)、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、09燈明台、ヌササン(祭壇)、熊の頭骨、編み袋、マキリ(小刀)、タシロ(山刀)、弓、矢、矢筒、しゃくし。 熊送り用祭壇模型[複製]。
5		銀のしずく降る降る 知里幸恵「アイヌ神謡集」より 知里むつみ：修訳 横山孝雄：絵 星の環会	惜しくも19才で世を去った知里幸恵さんが美しい日本語に訳した神謡(カムイユカラ)を、絵本にしました。	首飾り。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、鉢巻(はちまき)、木綿製衣服、チセ(伝統的家屋)[再現]、06木綿製衣服ほか、05火棚、08炉かぎ、10灰ならし、14削り台、15花ごぎ、18トウキ(杯：椀・天目台)、宝物置き場、ヌササン(祭壇)、礼冠、イナウ(木幣)、タラ(運搬用縄)、マキリ(小刀)、弓、矢、矢筒。
6		熊神とカパラペポンス かやのしげる：文 いしくらきんじ：絵 小峰書店	熊神が心の美しいアイヌの矢にうたれ、そのアイヌの家にまつられました。歌い踊る村人たちの中はずばぬけて踊りが上手な男がいました。熊神はその男が誰なのかを知りたくて、何度もそのアイヌにうたれ、その家を訪れました。踊りのうまい男は、実は…	首飾り、酒注(湯桶)。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、手甲(てっこう)、鉢巻(はちまき)、木綿製衣服、チセ(伝統的家屋)[再現]、05火棚、06木綿製衣服ほか、08炉かぎ、09燈明台、14削り台、16儀礼用太刀と刀掛け帯、18トウキ(杯：椀・天目台)、宝物置き場、ヌササン(祭壇)、礼冠、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)、マキリ(小刀)、タシロ(山刀)、弓、矢、矢筒。 ムツクル(口琴)。
7		くまのしっぽがみじかくなったわけ くろせ ひさこ：さく・え 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成18年度 最優秀賞作品)。 むかし、むかし、くまにはりっぱなしっぽがありました…	チセ(伝統的家屋)[再現]、09燈明台、10灰ならし、15花ごぎ、16儀礼用太刀と刀掛け帯、17儀礼用矢筒、18トウキ(杯：椀・天目台)、宝物置き場、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)。

*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる地域・時代のものを載せていることもあります。
 *みんぱくでは「展示資料」の欄のように、資料名を表示しています。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内 容	展 示 資 料
8		トヌペカ ランラン ちりゆきえのアイヌしんようしゅうより かいせ みほ:ぶん・え 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成20年度 最優秀賞作品)。 水がなくて困っていた貝を助けた娘。貝たちは恩返しに、娘の家のあわ畑にたくさんの穂を実らせます…。貝殻製の穂摘具のいわれが語られています。	首飾り。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、鉢巻(はちまき)、編み袋、穂摘具。
9		パンペとペナンペ うみのカムイによばれる 上田 とし:語り 楠本 克子:文 北原 次郎太:絵 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成21年度 最優秀賞作品)。 パンペとペナンペは、シカやクマをとってくらしていました。ある日、海を越えたくなりました。海にでていくと、真ん中に大きな山がありました。そこには、カムイのおじさんとおばあさんと娘がいました。	首飾り、耳飾り、板つづり船(模型)。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、前掛け、木綿製衣服、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、06木綿製衣服ほか、15花ごぎ、16儀礼用太刀と刀掛け帯、宝物置き場、ヌササン(祭壇)、熊の頭骨、煙管(きせる)、イナウ(木幣)、イナウ削り用小刀、ゆりかご、マキリ(小刀)、弓、矢、矢筒。 熊送り用祭壇模型[複製]。
10		火の雨 氷の雨 カムイユカラ・アイヌの神さまが話したこと かやの しげる:文 いしくら きんじ:絵 小峰書店	竜神カンナカムイが語る話。アイヌには雷がなる時は静かにしているものだという言い伝えがあります。どうしてでしょう。	板つづり船(模型)、酒注(湯桶)。 アットウシ(樹皮繊維製衣服)、木綿製衣服、チセ(伝統的家屋)[再現]、06木綿製衣服ほか、15花ごぎ、16儀礼用太刀と刀掛け帯、礼冠、子負い具、背負子(しょいこ)、編み袋、タラ(運搬用縄)、かご、細ざらい、杵、臼、マレク(鉤銚かぎもり)、ヤス先、弓、矢。

*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる地域・時代のものを載せていることもあります。
 *みんぱくでは「展示資料」の欄のように、資料名を表示しています。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内 容	展 示 資 料
11		<p>ひまなこなべ アイヌのむかしばなし</p> <p>萱野茂:文 どいかや:絵 あすなる書房</p>	<p>クマの姿を借りてアイヌの世界にやってくるカムイ(神)。小なべの神が日頃から家の主婦に大切にしてもらっているお礼にと、この家にクマ神が訪れるたびに、踊りを踊ってもてなします。そのことによって、この家がさらに豊かになるのです。</p>	<p>首飾り、漆椀。</p> <p>アットウシ(樹皮繊維製衣服)、鉢巻(はちまき)、針入れ、手甲(てっこう)、木綿製衣服、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、04まな板、05火棚、07乾燥ウバユリだんご、08炉かぎ、09燈明台、10灰ならし、13寝床、14削り台、15花ござ、16儀礼用太刀と刀掛け帯、18トウキ(杯:椀・天目台)、宝物置き場、21ロルンプヤラ(神窓)、又ササン(祭壇)、儀礼用衣装、花矢、礼冠、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)、編み袋、マキリ(小刀)、矢、矢筒、しゃくし。</p>
12		<p>ほっかいどう 北加伊道 松浦武四郎のエゾ地探検</p> <p>関屋敏隆:文・型染版画 ポプラ社</p>	<p>今から約160年ほど前、当時エゾ地と呼ばれた大地を探検し、多くの日誌を書き、アイヌの文化を伝えた人がいました。「北海道の名づけ親」といわれる松浦武四郎の物語です。</p>	<p>耳飾り、板つづり船(模型)。</p> <p>アットウシ(樹皮繊維製衣服)、手甲(てっこう)、鉢巻(はちまき)、木綿製衣服、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、06木綿製衣服ほか、15花ござ、16 儀礼用太刀と刀掛け帯、18トウキ(杯:椀・天目台)、又ササン(祭壇)、熊の頭骨、礼冠、イクパスイ(捧酒箸)、イナウ(木幣)、子負い具、背負子(しよいこ)、編み袋、タラ(運搬用縄)、かご、マキリ(小刀)、マレク(鉤鉾かぎもり)、弓、矢、矢筒、鉾(もり)先。</p> <p>ムツクル(口琴)、トンコリ(五弦琴)。</p>
13		<p>やなぎのはのさかな</p> <p>さかい ちひろ:さく・え 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構</p>	<p>アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成17年度 最優秀賞作品)。 むかし、雲の上にかみなり神の兄妹がすんでいました。飢えにくるしむ村人のために、妹神は、兄神が大切に育てている柳の木の葉をつみ、川に流しました。</p>	<p>耳飾り。</p> <p>アットウシ(樹皮繊維製衣服)、鉢巻(はちまき)、脚絆(きやはん)、チセ(伝統的家屋)[再現]、16 儀礼用太刀と刀掛け帯、タラ(運搬用縄)、かご、臼、杵、マキリ(小刀)、弓、矢、矢筒。</p> <p>糸巻。</p>